

# 安心・安全 info

発行：自然社

〒064-0914

札幌市中央区

南14条西8丁目1056番1

Tel.011-562-0606

Fax.011-562-0808

防犯対策に携わる人のためのミニ情報誌

http://www.shizen-sha.co.jp

2012.11

## 続・サイバー犯罪 拡大する被害、ひと事ではない実情

パソコンを乗っ取られ、踏み台にされ…

本紙前号でも取り上げた「サイバー犯罪」ですが、ほどなく世間を騒がせる事件が起きました。

ネット掲示板への書き込みやメール送信などで小学校の襲撃や施設の爆破などを予告したとして逮捕された数人の男性。その後、別人の遠隔操作による犯行だったとわかり無罪放免されたというものです。

真犯人がウィルスを送り込んでパソコンを乗っ取り、遠隔操作をする手口で捜査をかく乱させ、無実の人が逮捕されるに至った経緯に、多くの人がサイバー攻撃に対するセキュリティ対策の必要性を改めて認識させられたのではないのでしょうか。

### 脆弱なセキュリティに関する意識と知識

昨年IPA（独立行政法人・情報処理推進機構）が個人を対象に行なった「情報セキュリティの脅威に対する意識調査」。それ

図1 情報セキュリティ対策の実施状況

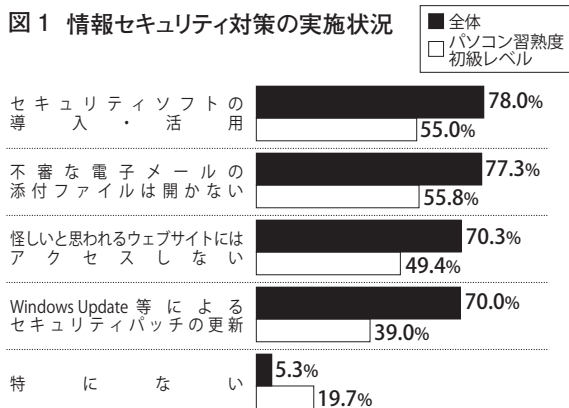
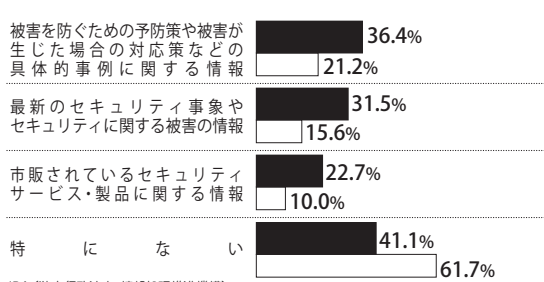


図2 過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報



IPA（独立行政法人・情報処理推進機構）

によると、パソコン（以下PC）やネットワークについての基本的と思われるいくつかのセキュリティ対策は7割余りが行われている（行う予定を含む）一方で、「特にしない」と答えた人が5%以上いました（図1参照）。

また、過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報としては、「被害の予防や被害発生時の対応策」「最新のセキュリティ

対策」がそれぞれ3割以上挙げられ、反面「特になし」との答えも約4割ありました（図2参照）。さらに、おおよそのセキュリティ用語については認知しているものの、サイバー攻撃に使われる「ボット」や「マルウェア」などに対する認知や理解は十分とはいえない結果でした。

PCの習熟度別の調査も行われ、習熟度の低い人ほど必要とするセキュリティ情報は「特になし」と答えており、初級レベルの人は情報の「要・不要を判断するための知識」すら持っていないとも推測されます。

### 大切な「用心深さ」、さらなる注意喚起を

不正アクセスやウィルス配布のほか、架空請求詐欺等ネットワーク利用犯罪なども、その手口は今後さらに複雑・多様化が予想されます。そのためネット利用者は、より多くの知識や技術を身につける必要があります。にもかかわらず、先の調査結果からは、攻撃の仕組みやウィルスの働きなどに関する知識に乏しく、またサイバー攻撃に対処するために必要な具体的方法に疎い人が少なくないことがうかがえます。特にPC初級レベルの人は、サイバー犯罪とその脅威に対する基本的な知識や関心がそもそも薄く、有効な情報や知識を得ようとする意識さえ希薄で、結果として情報不足などを招いているとも思われます。

関係機関や企業等が先進的な対策を講じることを期待するのはもとより、ネット利用者各人の「用心深さ」を醸成するため必要な情報を、わかりやすく届けることがこれまで以上に求められそうです。

# 内閣府「治安に関する特別世論調査」

# 体感治安、依然「悪い」が大半。ためまめ防犯対策を...

体感治安「悪くなった」が8割超

内閣府は今年8月、「治安に関する特別世論調査」を公表しました。調査結果によると、治安が「悪くなったと思う」と回答した人は平成18年の前回調査から3%余り減少したものの81.1%に上り、依然として、「治安が悪くなった」と感じている人が大半

数を占めました(図1)。

実際の国内の犯罪情勢を見ると、刑法犯の認知件数は平成14年の285万件をピークに毎年減少し、昨年は、戦後最低となりた昭和48年の119万件よりは多いものの148万件にまで減少しました。にもかかわらず「治安が悪くなったと思う」人が増え

ているという皮肉な調査結果となりました。

原因の最多は

「地域社会の連帯意識の希薄化」

「治安が悪くなったと思う」と回答した人に対する原因(複数回答)を聞くと、「地域社会の連帯意識が希薄となったから」が54.9%

9%と最も多く、前回調査から6%ほど増加しました(図2)。

自主防犯活動をおこなう地域住民や防犯ボランティア団体の活動の活性化などを見ると、こと防犯についての連帯意識は高まっているのではと思われず。しかし過去の内閣府等の調査によると、半世紀以上前から近隣の人々

との結びつきの希薄化は指摘されており、その傾向は依然として持続または進行しているとい

ます。地域住民が互いに隣近所の付き合いを軽視したことで連帯意識を希薄にし、その結果、体感治安を悪化させてしまっているのかもしれない。

「景気の悪化」を

原因として挙げる人が大幅増

治安悪化の原因として2番目に多いのが「景気が悪くなったから」の47.4%で、前回調査に比べ17.7%と大幅に増加している点が目立ちます。確かに平成20年からの3年間は失業率の急上昇が見られます。

刑法犯の認知件数の増減と景気のパロメーターといわれる完全失業率の推移との間には旧来から相関性があると言われ、過去の犯罪白書でもその因果関係が

図1 最近の治安に関する認識

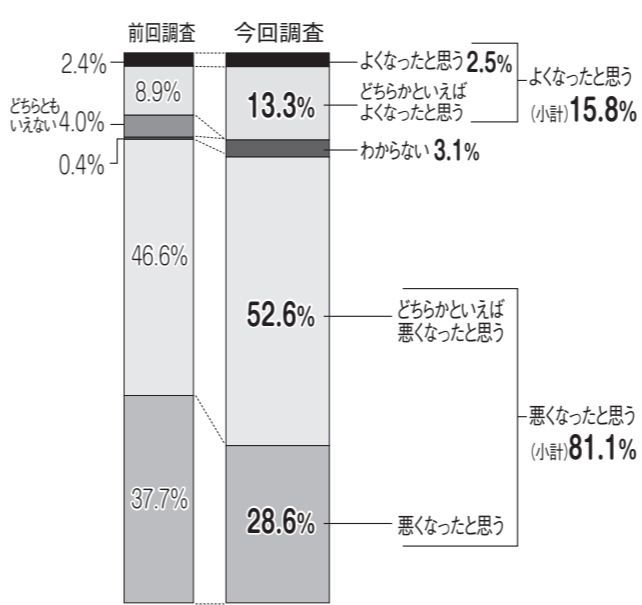


図2 ここ10年間で日本の治安が悪くなったと思う原因 上位5項目 (複数回答)

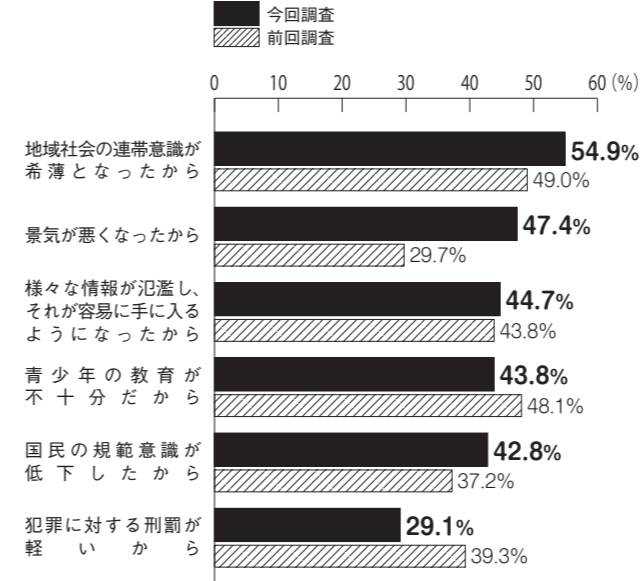


図1・2の調査は2012年7月5日から15日にかけて全国の20歳以上の日本国籍を有する3,000人に対し、調査員による個別面接聴取方式で行われたもので、有効回答数は1,956人。

指摘されています。双方の年別推移をグラフで見ても、半世紀近くの間ほぼ「貫して」よく似た動きを辿っています(図3)。

ところが、短期的に失業率が上昇する中で刑法犯の認知件数が減少を続けました。とはいっても、その理由も、またそれが特別な事象かどうかも分かりません。

むしろ過去の長い間の推移に鑑みると、失業率が上昇に転じたというよりは近い将来、刑法犯の認知件数が増加に転じることを

暗示していると考えられなくもありません。

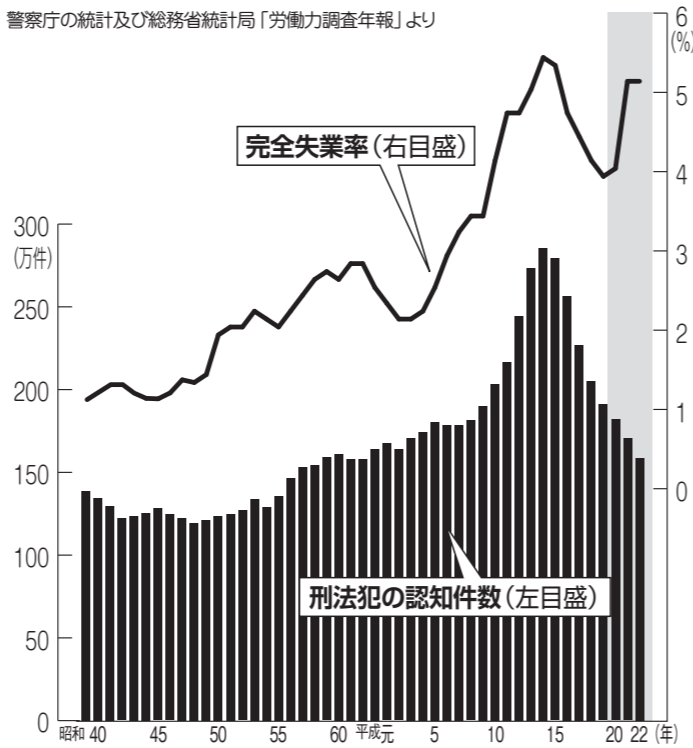
体感治安の悪化、好転に左右されることなく...

刑法犯の認知件数はピークだった平成14年以降年々、減少幅が縮小傾向にあり、また体感治安の悪化を訴える国民が多いといった調査結果が出た中、これ以上国民の間に犯罪に対する不安感がつのらないよう望むのは誰しも同じです。

そもそも治安に対する感覚

は、日常生活から得る情報によるところが大きいかもかもしれません。例えば、凶悪事件の派手な報道を見聞きすれば誰しも「物騒な世の中になったものだ」と感じがちです。また、近くで犯罪が発生したり、身内・友人などが被害に遭うなどすれば犯罪を「ごく身近に感じる」ことでしょう。体感治安の強弱、失業率の変動がどうあれ、不慮の防犯対策に努めていくしかありません。

図3 刑法犯の認知件数と完全失業率の推移



# NCN HEAD LINE

## 高齢者の犯罪で増加する粗暴犯

警察庁発表の「平成24年上半期の犯罪情勢」によると、高齢者に係る刑法犯の検挙人員は半年間で24,546人(前年同期比+659人)と増加傾向が続いています。罪名別では特に詐欺(同+28.5%)や、暴行(前年同期比+17.3%)、傷害(同+18.9%)といった粗暴犯の増加が目立っています。

## 「サイバー犯罪条約」が11月1日から発効

インターネット上での様々な行為について、国際的に何を犯罪とするかを定めた「実体法」と、どのように各国が協力し捜査を行うかについての「手続き法」などからなる国際条約、通称「サイバー犯罪条約」が日本でも11月1日から発効。スマートフォンやタブレットPCの急激な普及に伴い、多様化しているインターネット犯罪の撲滅に向け、国境を越えた対応に期待がかかります。

## IHCから提供された違法情報が犯罪の検挙に効果

一般ネットユーザーから広く情報を受け付けるIHC(インターネット・ホットラインセンター)から警察庁へ提供された違法情報を端緒とする犯罪検挙数が、平成24年上半期1,988件(前年同期比+1,413件)と大幅に増加。提供された違法情報の発信元を割り出し、判明した発信地の都道府県警が検挙までの捜査を行う新たな捜査方式が、匿名性と広域性を特徴とするサイバー犯罪の検挙に効果をあげています。

## 振り込め詐欺以外の特殊詐欺が激増

警察庁によると平成24年上半期の振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺等の状況は、オレオレ詐欺に一定の歯止めがかかる一方で、振り込め詐欺の類型に該当しない未公開株・社債等の有価証券や外国通貨等の売買勧誘をめぐる詐欺等の特殊詐欺が激増。上半期の認知件数は933件(前年同期比+667件)、被害総額は約89億5千万円(同+約67億7千万円)となっています。

新聞各紙や関係機関・団体などのHPを参考にしまとめたものです。

ご注意ください。

当社の防犯啓発商品に掲載した文章・イラスト・写真等を許可無く転載し、製作・販売している業者にご注意下さい。また、お客様のご発注により他の企業で作成された製品の中に、その企業が当社製品を許可無く転載、使用するケースも見受けられますので併せてご注意ください。

## いじめ防止へ 中学生が新聞発行 (兵庫)

滋賀県大津市の中2男子自殺を受け、同じ中学生としていじめ追放を訴えようと兵庫県たつの市内の6中学校の生徒会が、各校持ち回りで新聞制作を始めました。市内全中学生に配布するほか、小学校にも掲示用拡大版を送っています。

創刊号を制作した御津中学生会執行部は「市内の小中学校と同じ思いを共有するせっかくの機会。いじめをなくしたい気持ち

がみんなの心に響いてほしい」と、見出しやレイアウトの検討を重ね、伝わりやすさを重点に進めました。

『友だちをつれてでも止めに入る勇気をもとう!』など三つのスローガンを掲げ2月まで毎月発信、10月中には新宮中制作による第2号を発行の予定です。

いじめをなくすために何ができるか…中学生が自分たちで活動しています。

## 高齢者に安全安心を呼びかける

### 「孫心(まごころ)」はがき 高校生14人を表彰 (佐賀)

佐賀県内の高校二年生約9千人が祖父母に心を込めて送る「孫心(まごころ)」はがきの優秀作品14点の表彰式が10月中旬、佐賀

県警で行われました。県警と県高校生徒指導連盟が2年前から取り組む活動で、「あやしい電話に気をつけて」など祖父母に安全安心を呼びかける内容のはがきを送るもの。受賞者の一人は「いろいろな詐欺の手口に気をつけ

て欲しい」と思い書きました。『電

話の近くに貼っておく』と喜んでくれました』と笑顔で語りました。

それぞれの祖父母を思う愛情や個性あふれるはがきが、毎年届けられています。



活動内容をお寄せください。

みなさまが行っている防犯対策や取り組み、地域の活動状況などを編集部30の係までお寄せください。この「安心・安全110」でご紹介させていただきます。また、活動を収めた写真がございましたら併せて掲載させていただきます。

## 中学生が不審な男をパチリ 容疑者逮捕につなぐ (東京)

東京都港区で9月に発生した振り込め詐欺事件で、現金を渡す様子不審に思った中学生が携帯電話で現場を撮影。その画像が、容疑者逮捕につながりました。

警視庁大森署によると9月18日午後、港区高輪の東京メトロ白金高輪駅構内で被害者の女性から不審者が現金を受け取る場面を、同駅に居合わせた中学生一人が目撃ひとりが携帯電話で撮影し、すぐ110番通報した。

「女性があわてた様子で、『大切なもので宜しく願います』と頭を下げていた。すぐ振り込め

詐欺だと思いました」と話す中学

生に、「見て見ぬふりをしなかった二人の勇気を称えたい」と、感謝状を贈る方針です。

犯罪の道具にも使われる携帯電話が、防犯に役立つ一面も気づかせてくれる出来事でした。



## 通学路253カ所に防犯対策が必要 (山口)

山口県教育委員会は、県内の公立小中学校の通学路で「人通りが少ない」、「倉庫や空き家など人が隠れやすい場所に近い」、「街灯がない」など防犯対策が必要な場所が計253カ所あるとする調査結果をまとめた。調査は文部科学省などが全国に呼びかけた安全

点検の一環で、不審者から子どもへの声かけやつきまとい事案が過去最多ペースで推移する山口県が、独自に防犯の観点を加えて行ったもの。安全確保に向け警察や市町、住民ボランティア団体と連携し改善を図る予定です。

この「安心・安全110」でご紹介させていただきます。

TOPICSは、関係機関・団体などのHPを参考にしてまとめたものです。

## 川柳後記

編集後記に代え、防犯をテーマにした川柳はいかがでしょう。

カギかけて ああカギかけて

カギかけて (泥棒被害体験者)

スマートか? スマホ・スマホと

増す事件 (アラートフォン)

いまはもう ネットなしでは

成り立たぬ (二元対面詐欺犯)

気分だけ ヴァーチャルだけど

お金持ち (ネットゲームマニア)

猫好きが 「猛犬注意!」の

札を貼り (ダメー防犯)

クモの巣の ワールドワイド

恐いど (単なる駄洒落)

ウィルスの季節だ 注意!

コンピュータ (インフルエンザ)

